

# サンマ漁海況見通し

(対象:流し網漁船、平成27年7月)

北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場

## 要約

### 海況(現在の状況)

- 道東沖(北緯 42 度 00 分～北緯 43 度 30 分、東経 143 度 15 分～146 度 00 分)では、南からの暖水(表面水温 15℃)の張り出しが、前年と同様に北緯 42 度を越えた(図 1)。表面水温は前年より 1～2℃程度高い。
- この時期のサンマの漁場の指標となる表面水温 13℃前後の水温帯は、道東沿岸沿いに分布した(図1)。

### 漁況(見通し)

- 調査船北辰丸の漁獲が前年同様に少ないこと(図2)と三陸の定置網による 5～6 月の漁獲が非常に少ない(0.01 トン)こと(図3)から、三陸沿岸および沖合を北上して道東沖に来遊するサンマは少ないと考えられる。また、道東沖の表面水温の状況(図1)から、初期漁場は沿岸寄りに形成されると考えられる。
- 魚体サイズは、大型魚(体長 29～32cm)と中型魚(体長 24～29cm)が漁獲の主体になると考えられる(図4)。

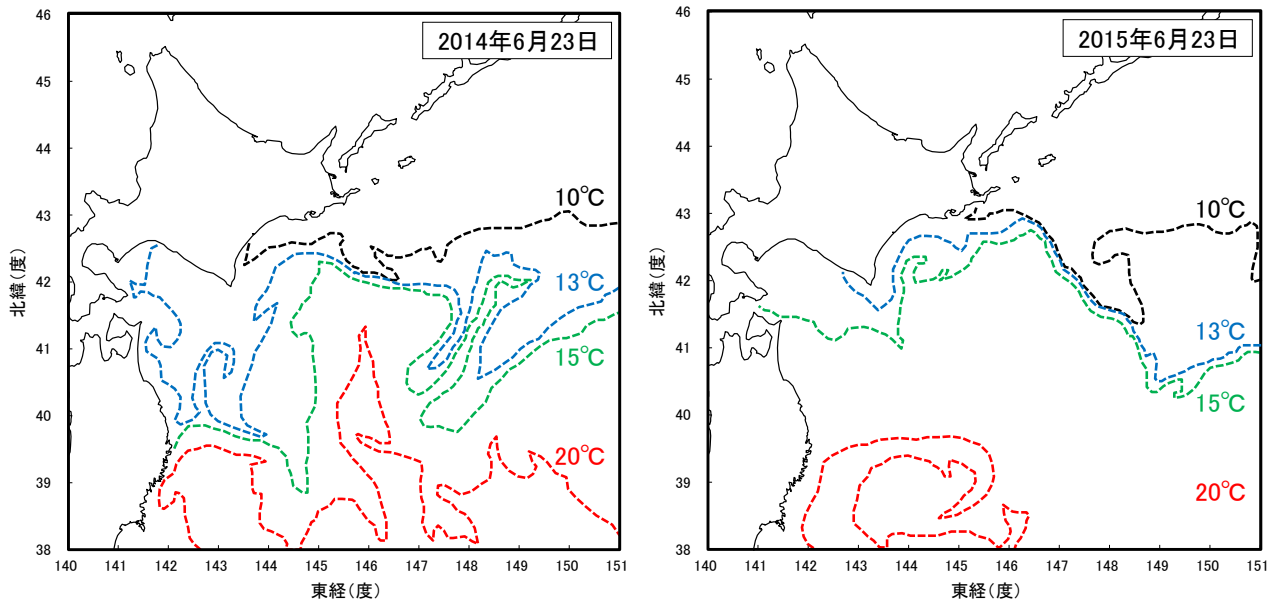


図1 6月23日の表面水温(左:2014年、右2015年、漁業情報サービスセンターの資料を改変)

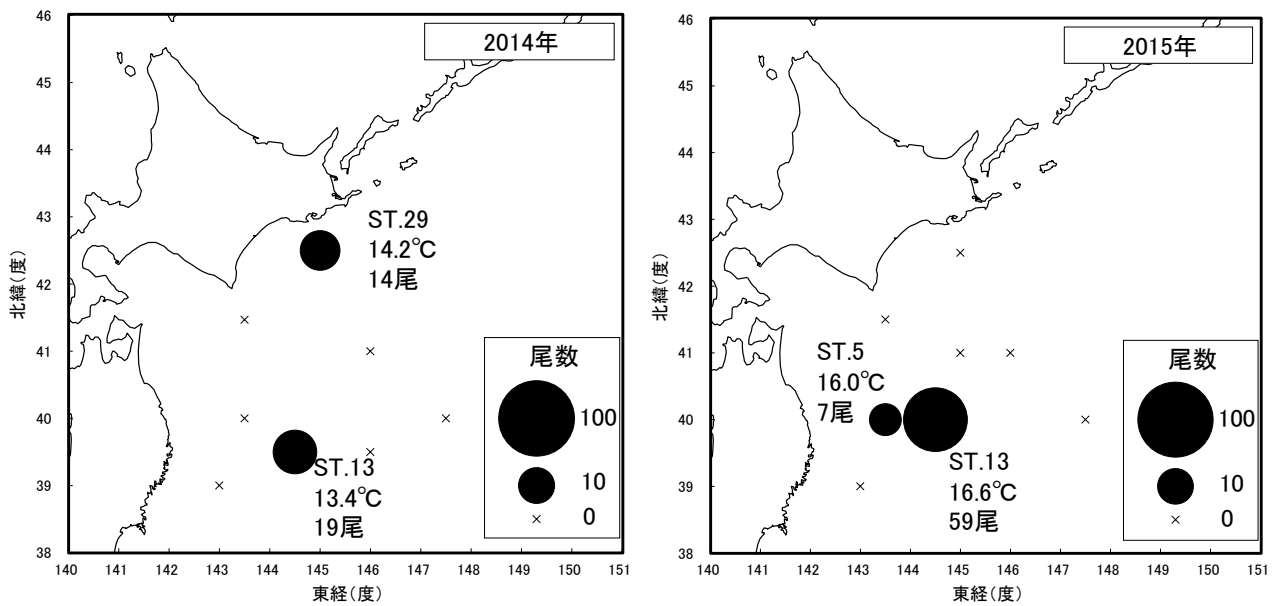


図2 北辰丸によるサンマの漁獲状況(左:2014年6月19~27日、右2015年6月17~26日)

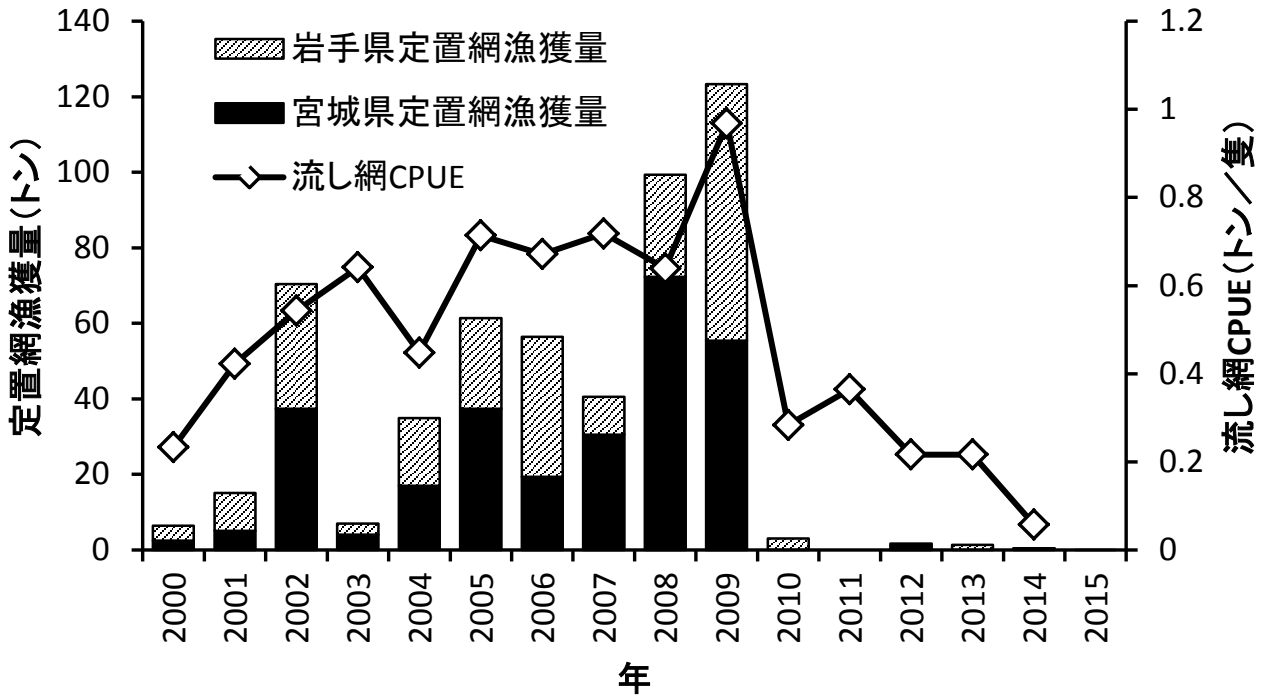


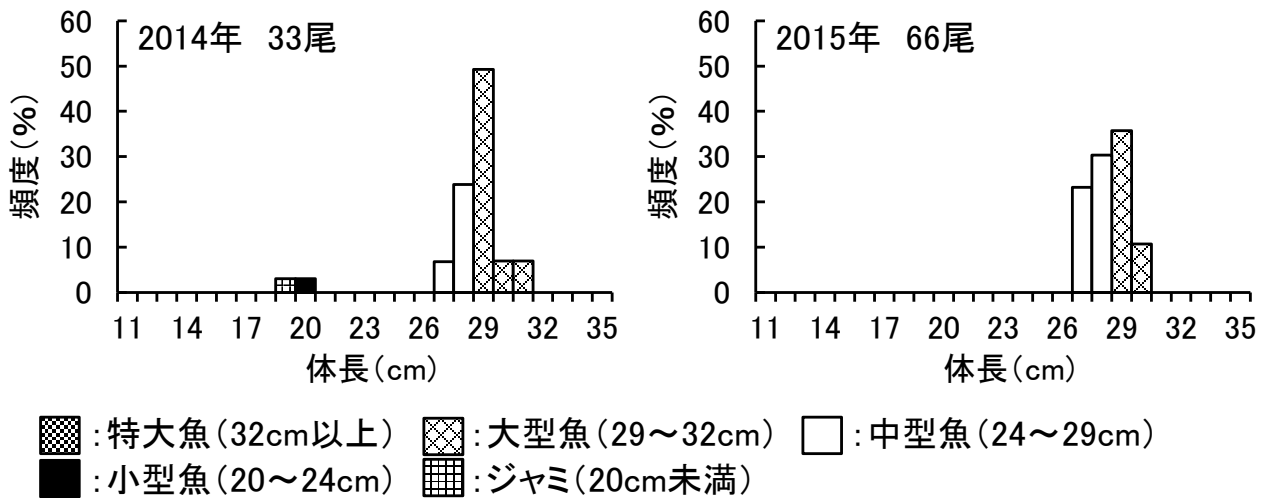
図3 流し網 CPUE と三陸定置網漁獲量の経年変化

※流し網 CPUE(トン/隻)…流し網漁船が1日1隻あたりで漁獲した漁獲量(トン)

(道東小型さんま漁業協議会調べ)

※三陸定置網漁獲量…岩手県、宮城県で5～7月に漁獲された定置網の漁獲量(トン)

(岩手県水産技術センター、宮城県水産技術総合センター調べ、2015年は5～6月の暫定値)



■: 特大魚 (32cm以上)    ▨: 大型魚 (29～32cm)    □: 中型魚 (24～29cm)  
 ■: 小型魚 (20～24cm)    ▩: ジャミ (20cm未満)

図4 北辰丸で漁獲したサンマの体長組成(左:2014年、右:2015年)